

令和元年度特定非営利活動に係る事業報告

特定非営利活動法人 風

1. 事業実施の成果

今年度も国の事業である「居宅介護」「同行援護」「行動援護」、「放課後等デイサービス」と市町村事業である地域生活支援事業「移動支援」を中心に事業を実施しました。

今年は平成から令和に変わった記念すべき年となりましたが、そのために休日が非常に増え勤務日数が例年より減っており支援に入れた時間数も例年より少なくなっています。政府は5月に休日が増えたことへの代替を行うとありましたが残念ながらいまだにそれは実行されていません。

秋には千葉県に大型台風が上陸し停電や家屋に甚大な被害をもたらすなどありました。幸い事務所には被害もなく通常通りの運営はなされましたが、支援には多少の影響がでてしまいました。

今年の冬は暖かく積雪もほぼなかったのですが、有償運送のできるヘルパーの退所や2月頃より始まった新型コロナウイルス感染の影響等で利用していただけることが困難になった方が増えています。

ヘルパー事業では、今年も移動支援サービスの利用時間が減っています。

ヘルパー不足を解消したく今年度も知的ガイドヘルパー講座を実施しましたが昨年度よりも応募者が少なく、また新しいヘルパー募集に対しての応募もなくヘルパーを確保することが困難でした。

「だいち」では4人の卒業生があり利用者も利用時間も減少しましたが、令和2年頃から新規の利用児童生徒を迎えています。しかし各関係機関と連携を取らないと難しいケースもあり現場での努力が続いています。

○ヘルパー事業

<居宅介護・行動援護・同行援護・移動支援>

利用者ご本人の好きな場所への外出を行うヘルパー事業は、ご本人のリフレッシュや健康維持、ご家族の負担軽減に役立っています。

令和元年度新規でご契約の方はいらっしゃいませんでした。

前年度までと同様学齢期のサービス充実に伴い成人の方のご利用が多いこと、高校卒業後引き続き風をご利用いただく方も多く、ますます平日の15:00以降の利用と土日、祝日の利用希望が多くなっています。新規利用の問い合わせもいくつかありましたがヘルパーの確保ができないためお断りせざるを得ませんでした。また現在利用されている皆さんについても、予約方法を工夫するなどして、なるべく多くの方にご利用いただくようにしました。

主な行き先としては、通常の公園・散歩・カラオケ・買い物・公的施設や機関の利用のほか新たに日本未来館、水上バス（お台場～両国）、スカイダック（水陸両用バス）、東京ディズニーシー、大宮鉄道博物館、オービー横浜（室内型動物園）などの行先が増えました。利用比率は、前年度比 8.3%減

<タイムケアサービス>

ほとんどがヘルパーの対象とならない長時間の車利用時間でした。利用比率は、前年度比減 56%減

<送迎サービス（福祉有償運送）>

今年度もヘルパーを利用される方で送迎を希望される方に送迎サービスを実施しました。今年度も安全

運転と利用者さんの安全確保に努めながら送迎を実施し、事故なく1年を過ごすことができました。

ご自宅以外での主な送迎先は印旛特別支援学校バス停、桜が丘特別支援学校バス停、印旛郡通所施設（バス停も含む）、千葉市内通所施設等です。利用率は、前年比 6.4%減

○放課後等デイサービス

「だいち」

3月末に4名の卒業がありましたが12月と3月に新規利用者の登録があり、今年度末での利用登録数は8名となりました。

昨年度から活動した、「プロジェクターダンス」では、音楽とDVDの種類も増えダンスの幅も広がりました。

ルールのあるスポーツや遊びを通し社会性を学ぶ『ポッチャ』では、継続して行ってきたことにより子供たち同士で順番を決められる様子や、勝敗が決まった時に勝ったときには喜び負けた時には悔しがめる様子が見られるようになりました。

土曜日の活動では、引き続き千葉動物公園・近場の有料アスレチック・産業科学館博物館など主に公共施設を利用し、その活動のなかでマナーを学んだり社会性を学んだりなど社会勉強が出来ました。

また、外出先で外食やお弁当屋さんで自分たちが自ら選び食べる機会を持つことを増やし、事業所近辺でのお買い物などを行うなど地域での活動をより増やすことも出来ました。

夏休みには、『ポートタワー』『成田航空博物館』などの猛暑でも楽しめる場所に行きました。恒例のプール遊びやかき氷に加え、お神輿や魚釣りゲームや射的をみんなで作り上げ「だいち」で初の夏祭りを実施し楽しみました。

そのほかの季節行事も継続して取り入れ、七夕まつり・ハロウィン・クリスマス・節分ゲームを企画しました。

今年度から新しく始めた誕生日会は、1年に一度自分が主役になれる特別な日になり成長の節目となれる活動を目指しました。

今年度も、子ども達も大きな病気をする事もなく健康で1年を過ごす事が出来ました。

利用率は前年度比13%減

○YPCレククラブ

YPC（軽度発達障害を持つ高校生以上のメンバー）の活動は5回実施しました。メンバーは前年度と変わらず、参加者は延べ24名でした。年間の活動については、前年度と同様にメンバーが中心となってスタッフがサポートしながら話し合いで決めました。主な行き先は、ランチパーティー・東京ディズニーランド・東芝未来科学館・虹の下水道館・水上バスなど参加者の希望にあわせて実施しました。

○知的障害者ガイドヘルパー講習

今年度も1名のヘルパーの退職がありヘルパーの確保のために「風」でガイドヘルパー講習を企画実施しました。

昨年同様植草短大の先生や市役所等からのご協力をいただき準備や受講生の募集をおこないましたが、3名と受講生もすくなく残念でしたが全員無事資格をとることが出来ました。

○その他

- ・昨年度より開始された厚生労働省の WAMMET での「障害福祉サービス等事業所情報公表システム」で情報公開をおこないました。
- ・風の広報活動として「風のたより」を毎月発行しました。
- ・ホームページは年間延べ 2100 名の方が閲覧されています。「だいち」(放課後等デイサービス)については保護者へのアンケートや事業内容を検討するためのガイドラインの改訂をしました。

2. 事業実施に関する事項

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従業者人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額 (千円)
障害福祉サービス	・居宅介護 (身体介護・家事援助・通院介助) ・行動援護 ・同行援護	随時	主に、四街道市、佐倉市、千葉市	原則として、1回1名、必要に応じては複数名派遣	ヘルパー派遣を必要とする身体障害児者、知的障害児者等 延 1,435 名	31,547
	放課後等 デイサービス	月～土	主に、四街道市、佐倉市、千葉市	利用者数に応じて2名～6名	デイサービスを希望する高校生以下の児童だいち延 882 名	8,704
地域生活支援事業	移動支援事業	随時	主に、四街道市、佐倉市、千葉市	原則として、1回1名、必要に応じては複数名派遣	ヘルパー派遣を必要とする身体障害児者、知的障害児者等 延 564 名	5,074
タイムケアサービス	時間単位で利用者の希望に添った支援をおこなう。必要に応じて保護者に代わり、一時預かりをする	随時	主に、四街道市、佐倉市、千葉市	原則として、1回1名、必要に応じては複数名にて支援	主に、一時預かりを必要とする身体障害児者、知的障害児者等延べ 69.5 時間	147
福祉有償運送(送迎サービス)	目的地までの送迎を行う	随時	主に、四街道市、佐倉市、千葉市	必要に応じて派遣	主に、送迎を希望する身体障害児者、知的障害児者等 延べ 750 名	761
YPC 向けグループ外出支援	LD,軽度発達障害児者のグループ活動を支援する	年5回	千葉県内 コスモ 会員	1名～2名	YPC に所属する高校生以上の方 延 37 名	0
移動介護従業者養成研修(知的障害)	知的障害児者の外出支援を行う人材育成	年1回	千葉県在住者で研修希望する者	3名	定員 10 名まで	24